

船舶事故調査報告書

平成27年11月12日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成27年8月4日 03時00分ごろ（出港時刻）～04時30分ごろ（無人の福丸が発見された時刻）の間）
発生場所	不明（新潟県新潟港東区網代浜地区 ^{あじろはま} 北方2.3海里（M）付近）
事故の概要	<p>漁船福丸は、漁場に向かった後、無人で航行しているところを発見された。</p> <p>船長は、新潟県粟島浦村粟島の南西方沖で漂流しているところを発見され、死亡が確認された。</p>
事故調査の経過	<p>平成27年8月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 福丸、2.8トン NG3-17724（漁船登録番号）、個人所有 8.65m（Lr）×2.00m×0.74m、FRP ディーゼル機関、134kW（動力漁船登録票による）、昭和54年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年3月22日 免許証交付日 平成23年12月13日 （平成29年5月5日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 波高 約0.5m、水温 約27.5℃
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成27年8月4日03時00分ごろ、きすのこぎ刺し網漁の目的で、新潟港東区網代浜地区（以下「網代浜地区」という。）の北方の漁場に向けて網代浜地区を出港した。</p> <p>僚船は、04時30分ごろ網代浜地区北方沖において、ふだん、漁場付近で円を描くように操業している本船が、約1～2ノットの速力</p>

	<p>で直進しているのを不審に思い、船長を無線で呼び出したが応答がなく、携帯電話にも出なかったので近づいて見たところ、無人であることを認めて海上保安庁に通報した。</p> <p>本船は、09時45分ごろ僚船によって網代浜地区にえい航された。</p> <p>船長は、14日13時00分ごろ、粟島浦村粟島南西9M沖付近で漂流しているところを、近くを航行中の遊漁船に発見されて海上保安庁に通報された。</p> <p>船長は、溺死（推定）と検案された。</p>
その他の事項	<p>本船は、出港するところを目撃されていないが、ふだん、02時30分～03時30分ごろの間に網代浜地区を出港していた。</p> <p>本船は、網代浜地区北方1.5M付近の海域を漁場としていた。</p> <p>本船は、僚船により発見されたとき、漁具（刺し網）が投入された状態であった。</p> <p>船長は、長袖シャツに作業ズボン、長靴を着用した状態で発見されたが、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>本船には、膨張式救命胴衣1着が残されていた。</p> <p>本船は、網代浜地区にえい航された後、船体に衝突痕等の損傷は認められなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、03時00分ごろ網代浜地区を出港した後、04時30分ごろ網代浜地区北方沖を無人で航行している本船が発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺死したものと考えられるが、溺死に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、網代浜地区を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船中は救命胴衣を着用すること。 ・乗船中は、防水型の携帯電話等を身につけておくことが望ましい。